

「山の日」制定を求める意見書

我が国は、国土の大半を山が占める「山の国」であり、いにしえより日本人は山に畏敬の念を抱くとともに、そのもたらす恩恵を享受してきた。

森林は、木材や林産物の生産を通じて直接、人々の営みとなるだけでなく、溪谷の清流を生み、この水は河川となって我々の生活を支えた後に海へと注ぎ、山からの養分を運んで豊かな海を育てている。我々は山のもたらす恵みに直接あるいは間接にかかわる形で、その自然に大きく依存して生きているのである。

我が国の文化は、「山の文化」と「海の文化」の融合によって、その根幹が形成されてきたと言われている。

そこで、国民の全てが、美しく豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐことを銘記し、国民が山との深いかかわりを考える日として、祝日「海の日」と対をなす「山の日」が制定されるべきであると考えます。

よって、国会及び政府においては、次期通常国会において、「山の日」を制定するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月18日

大 分 市 議 会